

校長室からのお知らせ

9月9日 NO.19

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野 武志

照干一隅



校長室の整理をしていたら、創立百周年を記念して作られた扇子を見つけました。ところが、扇子に書かれている文字が達筆すぎて読めませんでした。お恥ずかしいことに右から左に読むことさえ、気づきませんでした。そして、左から「汚」「一」「子」「無」と予想しましたが、ありがたい意味になるように思えず、悩んでいました。

たまたま来校された岸和田市教育委員会の指導主事の方に相談したところ、いろいろとご尽力いただき、右から「照干一隅（しょうかんいちぐう）」と読み、「社会の片隅であってもいいから、必要とされる人物になる」や「縁の下の力持ちになる」という意味があるということをご指導いただきました。

扇子に書かれた言葉の読み方や意味が分かったら扇子が尊い輝きを放っているように感じ、雑な使い方をした自分自身に後悔しています。